

中国記 その三

みやた すずむ

前々回書き忘れましたので付け加えます。吉林省はとても広くて。

北朝鮮の国境からモンゴルの国境までは、静岡県の伊豆半島の先端から、直線距離ですが北は青森県が隠れて、北海道の札幌まで届く距離。南だったら九州の桜島が隠れます。おおざっぱですが。

到着した翌日は父母の住んでいる所に行きました。其処には大鍋が二つ用意されており、その脇には羊の肉や内臓、切り落とした頭が皮を剥いて二つバケツの中に入っていました。

水は井戸から電気で汲み上げていました。この時間になると、近所の人たちも集まってきて料理を作るのを手伝ってくれます。大鍋にいろいろな調味料をいれて(何を入れているのかさっぱりわからない)、肉をいれ野菜もいれなんの野菜か不明ですが、出来上がるころになると人がも

っと集まって来ました。庭に椅子テーブルをだし宴会が始まります。何故かペットの犬や猫も集まってきた。昔「高倉 健」の主演映画で、日

中合作の「単騎、千里を走る」の映画で村人たちが宴会をするシーンがありました。あの映画と同じことが行われていました。ざっと数える

と五〇人ぐらいの人達が集まってくる宴会です。その時初めて理解したのですが、硬くて食べにくい肉や骨をテーブルの下に落とすと、それを待っていましたと大や猫が口に咥える。と何処かに運び、このようにして、宴会を待っているのは人間だけでなく動物も待っていたのだ。しかもそれだけではなく、放し飼いになっている鶏も六〇ぴきぐらいいるだろう

うか、その鶏も羊の肉を待っているのだ。この時初めて知ったのだが鶏も肉を食べるのだ。ここの人たちはお酒が強い、中国も北にいけばいほど度数の強いお酒を飲む。乾杯をすると、グラスの中に入っているお酒は飲み干すのが流儀だそう、私は少し飲んでテーブルに置くことになってしまった。私は強いお酒は駄目なのでビール専門で飲む。

それでも羊二頭はうした時にでも血も受け皿に溜めておき、内臓の中に流し込み、その血の入った内臓を鍋に入れて煮ていた。私も食べましたが不味くもないけれど、あまり美味いとは思わなかった。

羊も皆さんの胃袋に収まると麻雀が始まる、ルールは日本と少し違っていた。誰かが用事で席を外すと変わりの人がすぐ席を埋める。老若男女誰でも出来るようだった。もちろんお金が行ったり来たりしている、それでも一番勝った人でも百円ぐらいだから、日本円にすると三千ぐらいだ。

以下次号

ゆきんこ初滑り

「小海リエックス」

12月20日(日)

集合: 清水IC セブンイレブン
AM 5:00

担当: 石上
(262-7340)

新年会

1月4日(月)

静岡駅・新幹線の
南札口へAM12:00に
集合してください!

担当: 石上
(262-7340)



日帰りスキー

1月10日(日)

「やぶはら」

集合: 清水IC
セブンイレブン
AM 5:00

担当: 上田
(257-3204)

東海B

スノー・スチバル

in「平湯温泉」

1月29夜〜31日

担当: 長島
(296-3078)

